

沖縄総合事務局 広報誌／第402号

—むりぶし—

群 星

7月8日 2022
月号

July-August

隔月発行

Muribushi



★
特 集

★ 沖縄復帰50周年記念式典開催

- ★ 連載企画 沖縄歴史の散歩道 Vol.2
- ★ 特集 沖縄復帰50周年記念式典開催
- ★ 連載企画 「あ!これも地団!—沖縄の地域団体商標(地団)活用事例—vol.1」
- ★ 仕事の窓1 沖縄復帰・沖縄総合事務局設置50周年記念パネル展を開催しました
- ★ 仕事の窓2 沖縄特産販売株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令
(令和4年6月1日消費者庁、内閣府沖縄総合事務局)公正取引室による調査
- ★ 仕事の窓3 社会的課題を官民連携手法で解決するために
～沖縄県成果連動型事業推進プラットフォームにおける勉強会を開催～
- ★ 仕事の窓4 「第6回食育活動表彰」でオルタナティブファーム宮古が消費・安全局長賞を受賞しました
- ★ 仕事の窓5 「全国青年・女性漁業者交流大会」で八重山漁業協同組合資源管理推進委員会の
取組が水産庁長官賞を受賞しました。
- ★ 仕事の窓6 国道329号与那原交差点の渋滞緩和! ～与那原バイパス全線開通後の交通状況～
- ★ 仕事の窓7 沖縄復帰50周年記念 国道事業パネル展を開催しました!
- ★ 仕事の窓8 沖縄本土復帰50周年記念 港湾・空港事業パネル展を開催
- ★ 仕事の窓9 小型船舶に対する安全キャンペーン ～小型船舶の安全確保に向けて～
- ★ 仕事の窓10 沖縄復帰50周年記念「米軍施設返還跡地まちづくりパネル展」を開催しました
- ★ お知らせ① 第6回県内市町村の特産品販売が始まりました!
- ★ なかゆくい おきなわ懐かしの風景
- ★ お知らせ② 沖縄復帰50周年記念イベント開催中!
- ★ 内閣府だより 「強い沖縄経済」の実現に向けた西銘大臣ビジョンを公表しました!
「かりゆしウェア」の普及・促進について

表紙写真は、うるま市与那城宮城島にあるアクナ浜からの景色です(令和4年5月21日撮影)。

宮城島は海中道路を渡った先にあり、人気のドライブコースとしても知られています。

沖縄の昔ながらの景観が残り、ゆったりとした時間を楽しむことができます。

アクナ浜は、緑に囲まれた静かな浜辺で、透き通った海が広がっています。

波の音を聞いたり、泳いでいる魚を眺めてのんびりする時間は、何にも代えがたいものがあります。

ドライブの途中に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

農林水産部 農政課 長堂里咲子



アクナ浜(宮城島)

表紙写真

沖縄歴史の散歩道

グスクを歩く(2)

沖縄復帰50周年企画として、「群星」紙上及び沖縄総合事務局ウェブサイト「オキナワンパールズ」にて歴史研究家の上里隆史氏が沖縄の歴史文化の魅力を紹介します。 <https://www.okinawan-pearls.jp/>



勝連城跡

首里城に代表されるような沖縄の大型グスクの特徴は、日本本土より約2000年早く総石垣の城郭が登場したこと、本土の城壁が直線を基調としているのに対し、グスクの城壁は柔らかな曲線を描く美しい造りをしていること、天守閣が存在しないことなどです。とくに首里城の正殿は中国の宮殿建築をベースとしたもので、異国情緒あふれる雰囲気を出しています。

サンゴ礁の島である沖縄は琉球石灰岩が多量に産出することから石造技術が発達し、いち早く石垣の城壁を採用しました。また琉球石灰岩は比較的加工が容易なことから自由なデザインを可能にし、曲線のデザインを実現しました。グスクにはアーチ門や「張り出し」と呼ばれる城壁の防御施設など、中国大陸から導入した技術が使われているのも特徴です。グスクはまさに沖縄の自然環境と、海外交流がさかんだった交易国家の歴史が生み出したものといえるでしょう。

城塞として発達したグスクですが、宗教的な性格は消え去ったわけではなく、引き続き御嶽などの聖地を取り込んだかたちで機能し続けました。多くのグスクで、城門や正殿の方角を夏至の日の出の方向に一致させている事例が確認されて

います。玉城グスク(南城市)の城門はよく知られていますが、勝連グスク(うるま市)や中城グスク(中城村)、糸数グスク(南城市)なども同様です。古琉球の神歌集『おもろさうし』には、中城グスクの城門を東方の「てだ(太陽)の穴」に向けて建て直したと謡われています。太陽信仰がさかんだった当時の琉球では、1年でもっとも太陽の力が強い夏至の日の出を取り込む意図があったと考えられます。



玉城(たまぐすく)城跡/城壁

また石垣のイメージが強いグスクですが、実は「土のグスク」も多数存在していて、沖縄島北部から奄美地域にかけて広く分布しています。例えば名護グスク(名護市)は石垣がなく、土で造成されたグスクです。琉球石灰岩がそれほど採れない地域的な理由があったようですが、実

は石垣のグスクにも土の城郭を併用する例が見つかっています。浦添グスク(浦添市)や勝連グスクでは、石垣の城郭の外側に堀切や土で造成した区画を設けていたことが明らかに なっています。

グスクは想像以上に多様で複雑な姿をしていることがわかります。



高宮城(たかみやぎ)遺跡

上里 隆史(うえざと・たかし)

琉球史研究家。内閣府地域活性化伝道師。法政大学沖縄文化研究所研究員。早稲田大学大学院修士課程修了。著書に『琉球という国があった』(福音館書店、2020年)、『海の王国・琉球』(ポニーインク、2018年)、『マンガ沖縄・琉球の歴史』(河出書房新社、2016年)、『尚氏と首里城』(吉川弘文館、2015年)など。NHKドラマ「テンペスト」の時代考証を担当。



沖縄復帰50周年 記念式典開催



東京会場の様子



沖縄会場の様子

本土復帰50周年を迎えた令和4年5月15日、政府と沖縄県共催の沖縄復帰50周年記念式典が宜野湾市の沖縄コンベンションセンターと、東京都のグランドプリンスホテル新高輪で開催されました。

式典は、天皇皇后両陛下にオンラインで御臨席を賜り、御所、沖縄会場、東京会場をオンラインでつないだ三元中継で行われました。



天皇皇后両陛下の御臨席の様子

沖縄会場には、岸田文雄内閣総理大臣、玉城デニー沖縄県知事、西銘恒三郎沖縄及び北方対策担当大臣、平井伸治全国知事会会長（鳥取県知事）、赤嶺昇沖縄県議会議長等が、東京会場には、細田博之衆議院議長、山東昭子参議院議長、大谷直人最高裁判所長官、ラーム・エマニユエル駐日米国特命全権大使等が出席し、沖縄と東京で約1300名の方々に列席いただきました。

西銘大臣の開式のことば、テノール歌手新垣勉氏による国歌独唱

ではの魅力・可能性であり、改正沖縄振興特別措置法等の政策手段により沖縄の潜在力を最大限に引き出し『強い沖縄経済』を実現していくとし、そのために、那覇空港第二滑走路や名護東道路など、重点的に整備したインフラを最大限活用し、沖縄の産業振興に取り組むとともに、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の教育研究成果が社会に還元されるよう支援すると述べました。また、首里城正殿については、令和8年の完成を目指し、本年11月に建築に着手すること等について述べました。



テノール歌手 新垣氏による国歌独唱



西銘大臣の開式のことば



玉城沖縄県知事の挨拶



岸田内閣総理大臣の挨拶



細田衆議院議長の挨拶



天皇陛下のおことば

続いて、玉城沖縄県知事が式辞を述べ、5次にわたる沖縄振興開発計画等により、社会基盤の整備等によって本土との格差は縮小され経済は着実に進展した一方、子どもの貧困や離島における不利性など、克服すべき多くの課題があり、平和で豊かな「美ら島」おきなわの未来に向かってさらに力強く邁進していくと述べました。

続いて、天皇陛下がおことばを述べられたほか、衆参両議院議長、最高裁判所長官、駐日米国特命全権大使、全国知事会会長、沖縄県民代表の高良政勝氏（対馬丸記念会代表理事）、沖縄県民若者代表の普天間真也氏（沖縄県青年団協議会会長）、平敷雅氏（学生団体VONS共同代表）が挨拶を述べました。その後、県立那覇高等学校合唱部による合唱が行われ、赤嶺沖縄県議会議長の閉式の挨拶がありました。

また、米国のジョー・バイデン大統領から「沖縄県民の皆様には友好と追悼のメッセージを送りたいと思います。」とした文章が寄せられ、式典会場に展示されました。

式典終了後には、沖縄会場において記念レセプションが開催され、司会は、ラジオパーソナリティーなどで活躍する沖縄出身のジョーン・カビラ氏が務めました。岸田総理や玉城知事他による古酒仕次の儀が行われたほか、人間国宝の志田房子氏、宮城幸子氏、県立南風原高等学校郷土芸能部他による琉球舞踊・民舞、東京五輪金メダリストの喜友名諒氏他による空手演武、テノール歌手の新垣勉氏による歌唱、那覇高等学校合唱部による合唱と続き、宮沢和史氏他出演者がフィナーレを飾りました。

内閣府沖縄復帰50周年特設サイトでは、式典の様子を令和5年3月31日までアーカイブで視聴できますので、是非ご覧ください。

沖縄復帰
50周年特設
サイトはこちら



<https://www.okinawahukki50.go.jp/index.html>

お問合せ先

総務部 総務課広報室

☎ 098-866-0044



大谷最高裁判所長官の挨拶



山東参議院議長の挨拶



平井全国知事会会長（鳥取県知事）の挨拶



ラーム・エマニュエル駐日米国特命全権大使の挨拶



沖縄県民若者代表 普天間氏・平敷氏の挨拶



沖縄県民代表 高良氏の挨拶



赤嶺沖縄県議会議長の閉式挨拶



県立那覇高等学校合唱部による合唱



古酒仕次の儀



レセプションにおける岸田内閣総理大臣の挨拶



フィナーレ



空手



琉球舞踊・民舞

沖縄シークワサーを沖縄全体で守り
魅力ある産業へと育てていく

あ!

これも地団!

沖縄の地域団体商標(地団)活用事例

地域団体商標制度は、「地域の名称」と「商品(サービス)名」等の組み合わせからなる商標を地域ブランドとして保護することにより、地域経済の活性化を目的とした制度です。沖縄県内の取組を連載で紹介します。

商標登録:第5942666号 沖縄シークワサー(おきなわしーくわーさー)

沖縄県農業協同組合 沖縄県地域ブランド事業協同組合

■指定商品又は指定役務

沖縄県産のシークワサー

沖縄県産の価値を守る

沖縄シークワサーは、ノビレチン(フラボノイドの一種)などの

沖縄シークワサーが地域団体商標(地団)に登録されたのは2017年。「商標登録までに10年ほどかかりました」と話すのは、沖縄県地域ブランド事業協同組合(以下同組合)長濱徳勝代表理事(沖縄ハム総合食品株式会社社長)。



沖縄シークワサー

(写真提供:沖縄県地域ブランド事業協同組合)

健康食品としてブームになった沖縄シークワサー

沖縄県北部を原産地とする沖縄シークワサーは、古くは琉球王朝時代から食品や洗浄液、消臭剤として用いられた地域に根付いた柑橘です。

有効成分が含まれていることが研究でわかり、メディアで取り上げられたことで、健康食品としてブームが巻き起こりました。しかし、中には外国産の四季柑が混ざっているなど、消費者の誤解を招く商品も多数出回っていたそう。

特に沖縄県産のシークワサーと称して販売されていた一部の商品や安価な商品の本身は大半が四季柑であったため、ノビレチンの含有量から見ても、全く異なるもので、有効成分を求める消費者には多大な誤解を生むおそれがありました。「沖縄県産のシークワサーの価値を守るためにも、沖縄シークワサーの地団を取得することは、必要不可欠でした」と、長濱代表理事は取得の経緯について語ります。

地団取得の際には、同組合及びJAおきなわと連携を取りながら進めたとのこと。

「加工業者、農家さん、また流通や観光などあらゆる分野の業界で議論しながらブランディングを行っていく必要がある」と話し、取得後も定期的に管理委員会を開き、地団の活用や広報活動について協議されています。



ロゴマークやイベント 開催で認知度向上へ

沖縄シークワーサーのブランディングのために、同組合ではJAおきなわや沖縄県農林水産部と協議し、認定ロゴマークを設定し、消費者への目印として該当商品に表記しています。



商品に付された認定ロゴマーク

地団の使用とロゴマークは、普及させることを第一に考え、沖縄シークワーサーを使用していることが確認できた商品に対しては、無料で使用できるようにしているのと。

マークには信頼の証として地団の登録番号も記載しています。沖縄シークワーサーの広報活動や販路拡大については、JAおきなわを中心に生産農家、食品加工業、

サービス業、流通、観光業、行政などさまざまな業種の企業・団体等が参加する「沖縄県シークワーサー消費推進協議会」以下同協議会で検討しています。

同協議会では、9月22日をシークワーサーの日と制定し、県内外で試飲・販売イベントを開催するなどPR活動を行っており、県内外のメーカーとの取引は着実に増えているそうです。



表記のガイドラインで 統一性を図る

沖縄シークワーサーのブランディングを図るために、同組合では表記統一についてもガイドラインを作成しました。

特に加工品については、沖縄県産以外やその他柑橘類が混じったものについて商品中に「沖縄シークワーサー」を使用することを禁止し、紛らわしい商品が生まれることを未然に防ぐ工夫をしています。

これまでに、100%のストレートジュースやドリンクタイプの飲料、調味料や菓子類、粉末果汁や精油、エキスなど様々な分野で沖縄シークワーサーが活用されていますが、ガイドラインの作成によりさらに広い分野へ地団をより広めていく考えを持つています。



さらなる魅力発掘のため 異分野との連携を強化

沖縄シークワーサーはまだまだ可能性を秘めています」と言う長濱代表理事。大学等に協力を仰ぎながら、高付加価値商品の開発を推進しています。

最近では、認知症予防に期待ができるメディアで取り上げられ、国内外で注目度が高まっています。が、消費拡大に伴い、生産・加工・流通・サービスと様々な業界の協力が必要になります。

そこで、同協議会では沖縄シークワーサーを安定供給できるような様々な業種・業界との協力体制づくりも提唱しています。



地域の課題を解決する ために協力したい

「沖縄シークワーサーに関わっているのも、地域とのつながりを重視しているから。地域ブランドの構築は一企業だけで出来るものではなく、地団が沖縄県産のシークワーサーを使用している証として商品の信頼性・価値を守り、地域ブランドとしての沖縄シークワーサーの魅力を高め、消費拡大を担う重要なものになれば」と情熱を語る長濱代表理事。



沖縄シークワーサーは生産者の高齢化や価値の変動などさまざまな課題を抱えているそうですが、地域一体となつて課題に向き合うことが解決への糸口となることでしょう。

2022年4月からは、沖縄が舞台となるNHK朝ドラ「ちむどんどん」も放送開始され、かつてのブームを経験した沖縄シークワーサーが、今後どうブランディングされていくか、期待が膨らみます。

お問合せ先

経済産業部

地域経済課 知的財産室

☎098-866-1730

沖縄復帰・沖縄総合事務局 設置50周年記念パネル展を 開催しました



沖縄総合事務局の取組を パネルで展示

5月2日(月)～27日(金)の期間で、「沖縄復帰・沖縄総合事務局設置50周年記念パネル展」を開催しました。

昭和47年5月15日の本土復帰と同時に、沖縄の振興開発を一元的、効率的に推進するため、沖縄開発庁の地方支分部局として設けられた沖縄総合事務局は、設置50周年の節目の年を迎えました。

これまでの半世紀にわたる、ダム、道路、港湾、空港などの整備や産業の振興など広範多岐にわたる取組を広く県民の皆様知っていただくために開催しました。



パネル展の様子



沖縄総合事務局の元職員 へのインタビュー動画放映

本土復帰当時の沖縄総合事務局元職員へのインタビュー動画も放映しました。

復帰間もない激動の時代に、第一線で沖縄振興に携わった職員の想いを伝えています。



元職員インタビュー動画

来庁した市民から、展示した復帰当時のパネル写真の中に、家族が映りこんだ写真があつて懐かしかったなどの反響がありました。

お問合せ先

総務部総務課広報室

☎098-866-0044

沖縄特産販売株式会社に対する 景品表示法に基づく措置命令 (令和4年6月1日消費者庁、内閣府沖縄総合事務局) 公正取引室による調査



消費者庁は、令和4年6月1日、沖縄特産販売株式会社(以下「沖縄特産販売」といいます。)に対し、同社が供給する「養力珪素」と称する食品に係る表示について、消費者庁及び内閣府沖縄総合事務局の調査の結果を踏まえ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

不当表示のあったダイレクトメールの一部

違反事業者

沖縄特産販売は、沖縄県豊見城市に本社を置き、健康食品の製造、販売等を営む事業者です。

違反事実の概要

<表示>

ダイレクトメールや自社商品同梱チラシにおいて、「しみ、しわ解消」など表示することにより、あたかも本件商品を取扱等すれば、珪素の作用により様々な効果が得られるかのように表示していました。

<実際>

消費者庁が、沖縄特産販売に対し、当該表示の裏付けとなる合理的な根拠を示す資料の提出を求めたところ、同社は資料を提出せず、不当表示とみなされました。

措置命令の概要

消費者庁は、沖縄特産販売に対して、再発防止措置や将来の不作為を命じました。

記者会見の様子



「どっきん」

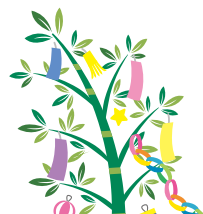
6月1日、公正取引室長と食品表示対策室長は記者会見を開き、本件について、詳しく説明を行いました。



(左から)内閣府沖縄総合事務局総務部公正取引室長、消費者庁表示対策課食品表示対策室長
[場所] 沖縄総合事務局2階共用D・E会議室

総務部公正取引室では、景品表示法に違反する不当表示の調査のほか、未然防止のため事業者からの相談も受け付けています。

【お問合せ先】総務部 公正取引室 ☎098-866-0049



社会的課題を官民連携手法で 解決するために

～沖縄県成果連動型事業推進

プラットフォームにおける勉強会を開催～



財務部は、社会的課題の解決を図っていくための官民連携手法であるPFS（成果連動型民間委託契約方式）の活用を後押しするため、管内の地方公共団体で構成する沖縄県成果連動型事業推進プラットフォームを設置しています。

同プラットフォームでは、これまで講演等を4回開催してきましたが、今回はケイスリー株式会社 代表取締役社長CEOの幸地正樹氏を講師とする実践的な勉強会（座学及びグループワーク）を全3回に亘り開催します。

沖縄県成果連動型事業推進プラットフォーム

財務部が地方公共団体と意見交換等をした際に、社会保障関係費の増加により財政がひっ迫しているとの声を受け、成果連動型事業の組成支援などに取り組むため、同事業に関心を寄せる県内の地方公共団体を中心に、今後の事業組成の支援や関連動向の共有を目的として平成31年2月に設置しています。

PFSとは

PFSとはPay For Successの略で、従来型の委託方式ではなく、行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、成果指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う「成果連動型民間委託契約方式」という新たな官民連携の手法です。

PFS事業として委託する地方公共団体においては、成果の出なかった事業に対する無駄な支出を抑制できるメリットがあり、事業の費用対効果の改善等の行財政効果も期待できます。

PFSの定義及びスキーム図

- ・地方公共団体等が、民間事業者に委託等して実施させる事業のうち、
- ・その事業により解決を目指す行政課題に対応した成果指標が設定され、
- ・地方公共団体等が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者等に委託等した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動するもの

●PFSの効果のイメージ



●PFS事業の実施件数

国内におけるPFS事業の実施件数は、令和2年度末時点で76件。

政府としてPFSの普及促進に取り組む方針の下、「成果連動型民間委託契約方式の推進に関するアクションプラン」においては、医療・健康、介護及び再犯防止の3分野が重点分野とされており、令和4年度末において、重点3分野でのPFS事業を実施した地方公共団体等の数を100団体以上とすることが目標値とされています。

(出所:内閣府成果連動型事業推進室ウェブページ)

県内団体のPFS取組状況

浦添市は、大腸がん検診の受診率向上の効果的な取組として、成果連動型事業を実施しました。SM（ショートメッセージ）の送信や大腸がん検査キットの送付といった受診勧奨を行い、大腸がん検診受診者数が、2018年度の2,632人から2019年度の3,661人と前年度に比べて40%増加しました。（出所：浦添市ウェブページ）

PFS勉強会

5月30日に開催した第1回勉強会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、WEB開催としました。県内6つの自治体の財政担当課や事業担当課から14名の参加があり、講師から、PFSの概要説明の後、4つのグループに分かれて大腸がん検診受診勧奨事業をケースとした成果指標の検討を行いました。

グループワークでは、参加者が事業の成果指標及び選定した理由を説明した後、他の自治体の参加者と議論を行い、最後は全体会議で各グループから意見発表が行われました。

参加者からは中間支援組織や第三者評価などに関する質問もあり、PFS手法への関心の高さがうかがえました。また、自治体間で課題を共有できたほか、他の自治体の担当者との交流にもつながっています。

今後開催する第2回、第3回の勉強会においては、PFS導入に向けて、ロジックモデルの策定や予算要求に向けた対応などを議論していく予定です。

財務部では、今後も関係機関と連携しながら、PFSの活用に向けた地方公共団体の取組を積極的に支援してまいります。



勉強会の模様



【プロフィール】

ケイスリー（株）幸地社長

ケイスリー株式会社 代表取締役社長CEO

ソーシャル・インパクト・ボンド等の成果連動型委託契約など、成果向上に向けた手法の研究・導入支援を行うケイスリー株式会社を2016年に設立。琉球大学非常勤講師。

沖縄県那覇市出身。

【お問合せ先】 財務部 理財課 ☎098-866-0092



「第6回食育活動表彰」で
オルタナティブファーム宮古が
消費・安全局長賞を受賞しました

「食育活動表彰」は、農林漁業、食品製造・販売などの事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国へ展開されていくことを目的として、農林水産省が実施しています。

株式会社オルタナティブファーム宮古では、作物の生産から食卓に上がるまでの一連の流れを体験できる食育プログラムを実施しています。この食育プログラムでは、現地の畑で実際に行われる黒糖&島バナナスイーツ作り体験だけではなく、現地と様々な開催場所をオンラインでつなぎ、事前に参加者に送付した体験キットを使ったサトウキビの植え付けや黒糖づくり体験を行っています。

このようなウイズコロナに対応した「新たな日常」においても、食育を着実に実施できる取組が高く評

価され、教育関係者・事業者部門の農林漁業者等の部において、第6回食育活動表彰の消費・安全局長賞を受賞しました。



オンラインで使用する体験キット



オンラインでさとうきびを学ぶ親子



現地体験を楽しむ参加者



報告会の様子

お問合せ先
農林水産部 食料産業課

☎098-866-1673



「全国青年・女性漁業者交流大会」で
八重山漁業協同組合資源管理推進委員会の
取組が水産庁長官賞を受賞しました。

全国漁業協同組合連合会は、漁業者が日頃の研究・実践活動の成果を発表し交流することで、水産業・漁村の発展・活性化のための技術・知識などを研鑽することを目的に「全国青年・女性漁業者交流大会」を開催しています。令和4年3月に開催された第27回大会において「多面的機能・環境保全部門」で八重山漁業協同組合資源管理推進委員会が「サンゴ礁の産卵親魚を守るルールづくり」と題した取組を発表し、水産庁長官賞を受賞しました。

この取組は、産卵期に特定の場所に集合して産卵する習性を持つ魚種を産卵期に大量漁獲していたことが漁獲量減少の要因と推定されることから、関係者の理解・協力を得ながら産卵保護区を定め、保護区を示すブイの設置や監視パトロール、釣り人等への協力をお願い等を通じて、減少が止まり成果が現れています。

本大会はオンラインで開催され、授賞式の式典がなかったことから、

5月25日に受賞者の功績をたたえ、今後の取組の発展を祈念するものとして、沖縄総合事務局農林水産部長より賞状代理授与を行いました。



前列中央：川崎委員長



監視パトロールの状況

お問合せ先
農林水産部 林務水産課

☎098-866-1674

国道329号

与那原交差点の渋滞緩和!

～与那原バイパス全線開通後の
交通状況～



▲与那原(北)交差点付近から西原町方面を望む(写真イ)



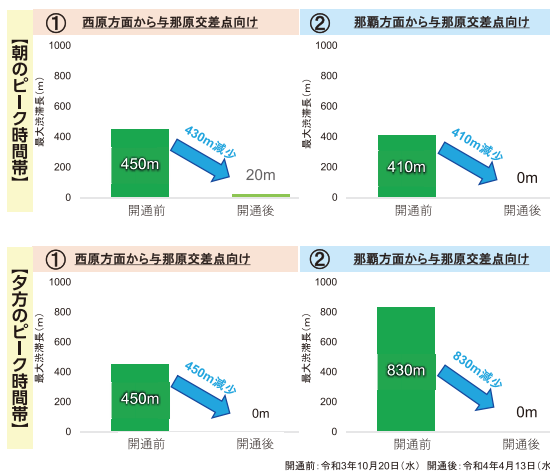
▲東部消防前交差点方面から与那原(北)方面を望む(写真ロ)

開通状況写真



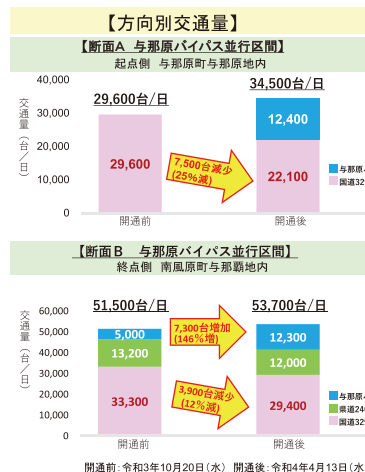
与那原バイパス事業区間

令和4年3月6日に全線暫定2車線で開通した国道329号与那原バイパス(与那原町与那原・南風原町与那覇間、延長2.2km)について、全線開通後の交通状況をお知らせします。



2 国道329号現道の渋滞状況が緩和

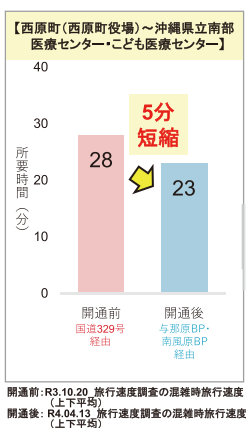
国道329号与那原交差点那覇方面から与那原交差点では、与那原バイパスへの交通転換により渋滞が最大830mから0mに大幅に解消し、交差点通過時間も那覇方面から最大16分から1分へ大幅に短縮しました。



1 与那原バイパスへ交通が転換

国道329号(現道)の交通量が与那原バイパスへ転換しました。

お問合せ先
南部国道事務所
098-861-2336



3 緊急医療活動の支援

西原町役場から県立南部医療センター・こども医療センターまでの所用時間が約5分短縮、アクセスが向上しました。



沖縄復帰50周年記念 国道事業パネル展を開催しました!

～国道整備50年の変遷について紹介～



令和4年5月15日、沖縄の本土復帰(昭和47年)から50年の節目を迎えました! 沖縄の本土復帰の歴史を振り返るとともに、これまで沖縄総合事務局の国道事業が果たしてきた役割や整備の歴史について紹介する「国道事業パネル展」を道の駅「許田」と道の駅「豊崎」、沖縄県庁1階県民ホールで開催しました!(令和4年4月28日(木)～5月31日(火)まで)
また、沖縄県が整備してきた県道の変遷についても併せて展示しました。
本稿では、パネル展の一部をご紹介します!



国道58号 名護「七曲り」数久田付近



昭和48年頃

「七曲り」は大きなカーブ7つ、大小含め40以上のカーブで蛇行した交通の難所でした。



令和3年

沖縄国際海洋博覧会(S50年)に合わせ4車線へ拡幅。名護東道路開通(伊差川～数久田)、道の駅「許田」のリニューアル。(R3年)

国道58号 大宜味村塩屋付近



昭和38年頃

「赤橋」と呼ばれ親しまれた旧塩屋大橋。完成当時は赤色ではありませんでした。



平成11年

奥に見える「赤橋」の老朽化のため、現在の新塩屋大橋へ架け替え。(H11年)

国道58号 国頭村宜名真付近



戻る道の状況

昭和35年頃

昭和53年頃

宜名真と辺戸を結んでいた現道には、「戻る道」という交通の難所がありました。



令和4年

当時は県の管理区間でしたが、権限代行で宜名真トンネルを整備。(S58年)

国道58号 那覇市旭町付近



昭和54年頃

交通方法変更後の旭橋交差点の様子。



令和3年

再開発により、交通結節点となっている現在の様子。バスターミナルが再整備され、モノレール駅はペデストリアンデッキでつながり、県立図書館や商業施設の利用が便利に。

国道58号 那覇市前島付近



昭和47年頃

730(ナナサンマル)交通方法変更前の前島付近の様子。車が右側を走る。



令和4年

未整備だった歩道や中央分離を整備。

パネル展の様子



道の駅「許田」



道の駅「豊崎」

沖縄本土復帰50周年記念 港湾・空港事業パネル展を開催



沖縄総合事務局開発建設部の港湾計画課及び空港整備課は、令和4年5月15日(日)の沖縄本土復帰50周年を記念し、4月25日(月)～6月14日(火)の間に県内各地(宮古島市、石垣市を含む)で「港湾・空港事業パネル展」を開催しました。

パネル展は、沖縄の本土復帰から現在に至るまでに沖縄総合事務局が進めてきた那覇港、中城湾港、平良港、石垣港及び那覇空港の整備事業等を紹介したものです。本土復帰後の沖縄の発展を支えてきた沖縄総合事務局のこれまでの取組を皆様に広くご理解いただくとともに、今後の更なる発展に必要な港湾・空港の整備について皆様にご関心を持っていただく機会となったことを願っております。

港湾・空港事業パネル展示スケジュール

場所	施設名	実施日時
那覇市	那覇第2地方合同庁舎2号館 1階「行政情報プラザ」★	令和4年4月25日(月)～28日(木)
	那覇市役所本庁舎 1階「正面玄関入口右側」	令和4年5月16日(月)～23日(月)
	パレット市民劇場 「パレット久茂地9階」★	令和4年5月23日(月)
	沖縄県立図書館 3階「正面玄関入口左側」★	令和4年5月25日(水)～30日(月) ※火曜日休館
沖縄市	沖縄市役所 1階「展示コーナー」	令和4年5月23日(月)～27日(金)
宮古島市	宮古島市未来創造センター	令和4年6月7日(火)～14日(火)
石垣市	ユーグレナ石垣港離島ターミナル	令和4年6月6日(月)～10日(金)

★は、空港事業のパネルを展示した施設

展示パネル(一例)



1972年(本土復帰当時の那覇港)



2020年(現在の那覇港及び那覇空港)
防波堤や岸壁など多くの港湾施設が整備されました。
また、那覇空港では第2滑走路が整備されました。

パネル展の様子



パレットくもじ9階市民劇場



沖縄市役所 1階「展示コーナー」

【お問合せ先】 開発建設部 港湾計画課・空港整備課 ☎098-866-1906

小型船舶に対する 安全キャンペーン

～小型船舶の安全確保に向けて～



我が国周辺では、毎年2千隻前後の船舶事故が発生し、その7～8割が小型船舶によるものとなっています。

沖縄総合事務局管内における令和3年の船舶事故隻数は79隻発生※し、うち小型船舶（プレジャーボート、漁船、遊漁船、作業船、旅客船等）が全体の8割強※を占め、依然として事故の割合が高く、例年、特にゴールデンウィーク前から初秋にかけての事故が多発しています。このため、当局では、4月11日から8月31日までの間、とりわけ5月下旬までを集中実施期間として、第十一管区海上保安本部、日本小型船舶検査機構沖縄支部などの協力を得て、プレジャーボート・漁船に対するパトロール・訪船指導等を行う「小型船舶に対する安全キャンペーン」を実施しています。また、北海道知床における遊覧船の事故を踏まえ、現行規制の確実な遵守を目的とした、旅客船事業者に対する緊急安全点検も合同で実施しました。（※第十一管区海上保安本部の海難発生状況（速報値）から抜粋）



緊急安全点検

【緊急安全点検の主な点検事項】

- ・安全管理規程に基づく運航会社の安全管理体制の現状
- ・運航基準の遵守
- ・運航船舶の船体、機関、通信設備、航海設備及び救命設備の状態など



漁協への周知依頼



救命胴衣の確認



船舶検査済票の確認

【パトロール活動の主な内容】

☆ライフジャケットの適切な着用（原則すべての乗船者にライフジャケットの着用義務）



水上オートバイの乗船者



12歳未満の小児（船室外）



1人乗り小型漁船で漁ろうに従事する者



左記以外の船室外のすべての乗船者

☆発航前検査の確実な実施や小型船舶操縦者の遵守事項の徹底

☆船舶検査の適切な受検の確認や案内

・海岸から12海里を超えない水域のみで操業する小型漁船であったとしても、漁業以外の目的（遊漁など）にも使用する場合は12海里以内でも船舶検査が必要であること

☆小型船舶操縦士免許の適切な受有の確認や案内

【お問合せ先】 運輸部 船舶船員課 ☎098-866-1838



沖縄復帰50周年記念 「米軍施設返還跡地まちづくり パネル展」を開催しました

沖縄総合事務局では、跡地利用の実現に向けた取組を行っている市町村に対する支援（駐留軍用地跡地利用に関する市町村支援事業）を行っており、沖縄復帰50周年を記念して、返還跡地のまちづくりの実例を紹介するとともに、今後の返還予定地のまちづくりに対して広く関心を持ってもらうことを目的に、米軍施設返還跡地のまちづくりを紹介するパネル展を、北中城村、北谷町、宜野湾市と共同で各庁舎1階において開催しました。

開催日

北中城村…令和4年4月18日（月）～22日（金）
北谷町…令和4年4月25日（月）～28日（木）
宜野湾市…令和4年5月9日（月）～13日（金）

パネル構成

（1）跡地利用についての概要「3枚」
（2）関係市町村が取り組んできた跡地でのまちづくり事例の紹介

ライカム地区（北中城村）「5枚」
ハンビー地区等（北谷町）「6枚」
西普天間住宅地区（宜野湾市）「4枚」
新都心地区（那覇市）「4枚」
読谷補助飛行場地区等（読谷村）「4枚」
ギンバル地区（金武町）「3枚」

4月、5月という時期に開催したこともあり、転出入手続きなどで来庁された多くの方に見ていただくことができた。
今回、残念ながら日程、展示場所の都合等により開催ができなかった市町村においても、このようなパネル展を開催していきたいと考えています。



お問合せ先

総務部 跡地利用対策課

☎098-866-0048

infomation おしらせ①

第6回県内市町村の特産品販売が始まりました！

沖縄総合事務局庁舎内ファミリーマートにて、県内各市町村特産品販売の第6回目が6月1日からスタートしました。

本企画は、株式会社沖縄ファミリーマート様にご協力いただき、コロナ禍で打撃を受けている県内事業者の支援となるよう県産品・特産品の販売拡大や魅力発信を行っています。当局職員及び来庁者の皆様からもご好評頂いており、今回は北部地区の4市町村（名護市・宜野座村・金武町・恩納村）の特産品等を販売しております。

それぞれの自治体の地域資源を使ったお菓子、加工食品、飲料、雑貨等、様々な種類の商品を取りそろえておりますので、沖縄総合事務局へお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

～商品の一部をご紹介します～



黒ごめ黒ごまげんまい
（名護市）



純黒糖とクルミのスコーン
（宜野座村）



オムタコ＆タコライスの
特製ミート（恩納村）



生しぼり 沖縄タンカン
梅酒（金武町）

過去のおきなわへタイムスリップ!?

戦後沖縄は、アメリカによる占領・統治下の時代(アメリカ世)を経て、50年前の1972年5月15日に日本に復帰しました。本島中部の沖縄市には今でも当時の面影を感じさせる街並みや建物が残っています。

下の写真は50年前の復帰の日、コザ市で撮影されたものです。雨の中、傘をさして登校する当時の子供たち、祖国復帰と書かれた横断幕が掲げられ、通りを行きかう外国人の姿などが見えます。

次頁の写真は、復帰よりさらに前のコザの街を撮影したものです。屋根瓦と英語の看板、貸しスクーター、土産品店、レストラン、オープンしたばかりのショッピングセンター、駐車されたアメリカ車。写真を見ていると、タイムスリップしたような感覚を覚えます。



1972年5月15日 センター通り 撮影:石川文洋
復帰の日は一日中雨が降っていた
朝日新聞提供



1972年5月15日 センター通り入口
復帰の日の登校風景 撮影:玉城哲夫
所蔵:沖縄市総務課市史編集担当



1972年5月15日 センター通り
撮影:石川文洋 朝日新聞提供



1972年5月15日
センター通り 撮影:石川文洋
朝日新聞提供

な
か
い
ゆ
く



NAKAYUKUI



く
お
き
な
わ
懐
か
し
の
風
景
く



今とは
全然違う
風景だなあ



かつてのゲート通り(現コザゲート通り) 1950年代
空にのびるエントツは製糖工場の跡
所蔵:沖縄市総務課市史編集担当

ライカム入口にオープンした
特免外商百貨店「プラザハウス」 1954年ごろ
所蔵:沖縄市総務課市史編集担当



センター通り1950~60年代 SOUVENIR(土産品店)、
NEW YORK RESTAURANT(レストラン)の看板が見える
所蔵:沖縄市総務課市史編集担当



島袋バス停(現山里バス停) バス停のある諸見大通りは、山里
交差点を中心に商店や映画館、病院が並び、北部と那覇とを
結ぶ交通の要衝として名をはせた 所蔵:沖縄市総務課市史編集担当

沖縄市中央のゲート通り沿いに、終戦から沖縄市誕生までをテーマにした資料展示館があります。戦後、アメリカ文化と融合しながら個性豊かな街として発展してきた沖縄市。その歴史・文化に触れることができます。

展示館では、5/10~9/11の期間、復帰50年特別企画展「アメリカ世からヤマト世へ-世替わり下の沖縄市」を開催中です。是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

■ 沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」
沖縄市中央2丁目2-1タサトビル
TEL 098-929-2922



沖縄復帰50周年記念イベント開催中!

北部ダム統合管理事務所では沖縄の本土復帰50年の節目を期に、「沖縄復帰50周年記念イベント」として、復帰からこれまで取り組んできた水資源開発の歴史を紹介するとともに、ダムが果たしてきた効果や水源地やんばるの魅力等を改めて知ってもらう機会として各種イベントを開催していますので是非やんばるのダムにお越しください。



開催状況

パネル展では復帰からこれまで取り組んできた水資源開発の歴史等を紹介しています。



【安波ダム】



【金武ダム】



【羽地ダム】

ライトアップ期間中は、各ダムでカラーライトアップを行っています。特に金武ダムでは、50周年の「50」の数字も点灯しています。



【表面】

スタンプラリーで全ダムコンプリートすると以下の記念下書き等を進呈します。



【裏面】



【金武ダム】



【漢那ダム】

QRコードからもイベントの詳細が確認できます。▶



内閣府だより

「強い沖縄経済」の実現に向けた西銘大臣ビジョンを公表しました！

西銘沖縄担当大臣は、5月31日に「強い沖縄経済」の実現に向けた西銘大臣ビジョンを公表しました。

このビジョンは、沖縄の更なる自立的発展に向け、沖縄振興特別措置法に基づく基本方針や沖縄振興計画による沖縄の総合的な振興を更に後押し・加速化して、①域外競争力が強く、②外部変化に強く、③民間主導による「強い沖縄経済」の実現を図ることを目的とするものです。

特に強化すべき分野として、「観光・リゾート」、「農水産業・加工品」、「IT関連産業」及び「科学技術・産学連携」を重点4分野に指定し、国(内閣府)として考える未来の沖縄経済が目指す姿(分野別ビジョン)と、その実現に向けて国が取り組む具体的戦略等を提示しています。

詳しくは
QRコードから▼



目指す姿(分野別ビジョン)		具体的戦略	
観光・リゾート	・観光の質の向上 ・ハイクラス観光客等に対応できる体制構築 ・ワーケーション等の新しい働き方のモデルを目指す	➡	(1) ハイクラス観光客等の誘引 ・世界レベルの宿泊施設の整備や大型クルーザー等の停留等を推進 ・ハイクラス観光客等に対応できる高度観光人材を育成 ・脱炭素化に対応したエコツーリズム型の観光回復 (2) ワーケーション等の「新しい働き方」の推進 ・外国語人材を含めた多様な人材を集約 ・外的変化への耐性向上 ・滞在増等により所得向上
	農水産業・加工品	➡	(1) 消費者を意識した販売力の強化 ・都市部や海外等の実需を踏まえた販売力の強化 (2) 先端技術の活用と新たな沖縄ブランドの確立 ・植物工場や陸上養殖などスマート農水産業を推進 (3) 製糖事業者の競争力強化 ・カーボンニュートラルも視野に競争力を強化
	IT関連産業	➡	(1) デジタル人材の育成・誘引 ・先端デジタル人材が豊富な沖縄の地位を確立 ・テレワークに親和性の高いデジタル人材を誘引・関係人口化 (2) 開発系IT産業の振興 ・開発系IT産業等を「稼げる産業」として集積 ・強力な起業支援によりスタートアップを一層創出
	科学技術・産学連携	➡	(1) スタートアップの創出・加速化の支援 ・「新しい働き方」で人材の集約・交流を推進し、沖縄発スタートアップを創出・加速化 (2) 産学官金連携の地域共創型プラットフォーム構築 ・OIST等を核とするプラットフォームを構築 (3) クリーンエネルギー社会の実現 ・エネルギーの安定的かつ適正な供給確保を図りつつ、化石燃料に頼らないクリーンエネルギー社会を実現

「かりゆしウェア」の普及・促進について

内閣府沖縄担当部局では、クールビズ実施に合わせて、「かりゆしウェア」の普及・促進に取り組んでいます。

5月11日には、総理大臣官邸において、岸田総理、松野官房長官、西銘沖縄担当大臣が、沖縄県より「かりゆしウェア」の贈呈を受けました。

※西銘大臣には、OKINAWA41「かりゆしウェア」デザインコンテスト最優秀作品である「琉球トライバル闘牛」を基に制作された「かりゆしウェア」が贈呈されました。

また、6月7日には、全閣僚が「かりゆしウェア」を着用して閣議に出席する「かりゆし閣議」が行われました。



5月11日「かりゆしウェア」贈呈式



6月7日「かりゆし閣議」

談合は必要で悪くない

この業界の入札には昔からルールがあるのをご存知でしょうか？ 予定価格は教えてもらわないと困りますよ。

スムーズな事業執行のためなら、予定価格の目安ぐらいお伝えしても大丈夫かな…。

いかなる理由があっても、入札談合に関与してはいけません！

入札談合等関与行為の4類型

以下の行為は入札談合等関与行為に該当します。

- ① 談合の**明示的な指示**
- ② 受注者に関する**意向の表明**
- ③ 発注に係る**秘密情報の漏えい**
- ④ 特定の**談合の幫助**

職員向け研修への講師派遣について

公正取引委員会では、入札談合事件について厳正に対処するとともに、その未然防止を図るため、発注機関の実施する入札談合等関与行為防止法（いわゆる官製談合防止法）・独占禁止法の研修等に当委員会の職員を講師として派遣しています。

<https://www.jftc.go.jp/event/kousyukai/kandanpoukensyu.html>

公正取引委員会

Japan Fair Trade Commission

沖縄総合事務局情報発信サイト

沖縄総合事務局
<http://www.ogb.go.jp/>



ホームページ



Twitter



Facebook



広報誌